

先生各位

No. 24-22

2024年5月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび下記の検査項目につきまして受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 新規受託開始日 2024年7月1日（月）受付分より

● 新規受託項目

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)
3653	前立腺特異抗原レクチン結合分画比 (S2, 3PSA%) 5D304-0000-023-024	血清 0.5	1	冷蔵	5~10	248 (生Ⅱ)	LBA-EATA法	38.0未満 (%)

＜保険留意事項＞

- ア S2, 3PSA%は、前立腺癌であることが強く疑われる者であって、前立腺特異抗原（PSA）の結果が4.0ng/mL以上 10.0ng/mL以下である者に対して、LBA法(定量)により、S2, 3PSA%を測定した場合に限り算定できる。
- イ 本検査は、前立腺癌の診断に当たって実施した場合に、原則として1回を限度として算定する。ただし、前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。
- ウ S2, 3PSA%と、前立腺特異抗原（PSA）、遊離型PSA比（PSA F/T比）又はプロステートヘルスインデックス（phi）を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。
- エ 診療報酬明細書の摘要欄に、前立腺特異抗原（PSA）の測定年月日及び測定結果を記載すること。また、本検査を2回以上算定する場合は、本検査の2回以上の実施が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

＜前立腺特異抗原レクチン結合分画比＞

前立腺特異抗原（PSA）は糖タンパク質であり、正常組織由来のものと癌由来のものでは、その糖鎖構造が異なります。

健常者や前立腺肥大症などの良性疾患では、PSA（S2, 6PSA）の割合が多く、前立腺癌の患者では糖鎖構造が変異し、PSA（S2, 3PSA）の割合が増加します。

そのため、S2, 6PSAとS2, 3PSAの総和に占めるS2, 3PSAの割合（S2, 3PSA%）は、前立腺癌と前立腺肥大症との識別において有用性が示されています。

S2, 3PSA%測定は、前立腺癌診断において高い特異度を有し、不必要な針生検の低減が期待されます。

● S2, 3PSA%の計算式

$$S2, 3PSA\% = \frac{S2, 3PSA\text{濃度 (ng/mL)}}{S2, 6PSA\text{濃度 (ng/mL)} + S2, 3PSA\text{濃度 (ng/mL)}} \times 100$$